

2018/04/13 版

2018年度 法文系公務員講座

BKC

国家公務員総合職
合格コース
(経済区分)

シラバス

BKCエクステンションセンター

国家公務員総合職合格コース（経済区分）
-目次-

区分	科目	講師	ページ
教養	一般知識（人文科学）	永田	3
	一般知識（自然科学）	平井	4
	一般知識演習	永田・平井	5
	数の処理	李	6
	数の処理演習（国家総合）	李	7
	文章理解	根岸	8
	時事教養	根岸	9
	論文対策	根岸	10
専門	憲法基礎	富田	11
	憲法応用	富田	12
	憲法演習	富田	13
	民法基礎	富田	14
	民法応用	富田	15
	民法演習	富田	16
	経済理論基礎	平野	17
	経済系総合職対策Ⅰ	平野	18
	経済系総合職対策Ⅱ	平野	19
	財政学	平野	20
	財政学応用・経済政策	平野	21
	国際経済学	平野	22
	統計・計量経済学	近藤	23
	経済史・経済事情	近藤	24
	経営学	中原	25
2次対策講座	政策立案講義	近藤	26

「国家公務員総合職合格コース（経済区分）」テキスト一覧

★リンクショップでのテキスト販売は各科目の講義開始日約2週間前から開始します。
各自買い忘れないよう注意してください！

科目名	テキスト名	出版社	出版年度	備考 (品番)	税込価格(予定)	販売開始 予定日	講義開始 予定日
一般知識(人文科学)	19公務員Ⅴ問題集 人文科学(上)	TACオリジナル	2018		¥1,360	2018/5/8	2018/5/22
	19公務員Ⅴ問題集 人文科学(下)	TACオリジナル	2018		¥1,360		
一般知識(自然科学)	公務員Ⅴテキスト 自然科学	TAC出版	2013	実施日の最新のものを 使用	¥2,160	2018/6/6	2018/10/12
	19公務員Ⅴ問題集 自然科学	TACオリジナル	2018		¥1,360		
一般知識演習	オリジナルレジュメ						2019/2/1
数的処理	オリジナルテキスト判断推理	オリジナル	2018	01-HS11	¥1,543	2018/5/7	2018/5/21
	オリジナルテキスト数的推理	オリジナル	2017	01-SSU8	¥1,543		
	オリジナルテキスト図形	オリジナル	2018	01-ZU13	¥1,543		
	オリジナル問題集(挟み込み冊子付)	オリジナル	2018	02-SSY15 (挟み込み冊子: 02-SSY17F)	¥2,057		
	オリジナル解説集	オリジナル	2018	02-SSYK17			
数的処理演習(国家総合)	オリジナルレジュメ 平成28・29・30年度本試験問題をレジュメの形で配布						2018/12/3
文章理解	文章理解(オリジナルテキスト)	ワークアカデミー	2018		¥2,160	2018/8/7	2018/8/21
時事教養	速攻の時事 平成31年度(変更の可能性あり)	実務教育出版	未発売・2019/2予定 (価格は前年版)		¥1,080	2019/2/1	2019/2/15
論文対策	論文試験 頻出テーマのまとめ方 2019年度	実務教育出版	2018	978-4788975880	¥1,512	2019/1/22	2019/2/5
憲法基礎	憲法講義案Ⅰ 憲法講義案Ⅱ	愛甲社	2017	1版	Ⅰ ¥1,823 Ⅱ ¥1,688	2018/5/11	2018/5/26
憲法応用							2018/8/31
憲法演習							2019/1/12
民法基礎	民法テキストⅠ 民法テキストⅡ	愛甲社	2017	1版	Ⅰ ¥2,496 Ⅱ ¥2,631	2018/5/7	2018/5/19
民法応用							2018/11/3
民法演習							2019/2/16
経済理論基礎	オリジナルレジュメ						2018/5/23
経済系総合職対策Ⅰ	2019年合格目標 国家総合職問題集 経済理論基礎/経済学(上)	早稲田セミナー	2018		¥2,160	2018/6/6	2018/6/20
	2019年合格目標 国家総合職問題集 経済理論基礎/経済学(下)	早稲田セミナー	2018		¥2,160		2018/11/21
経済系総合職対策Ⅱ	国家総合職2019年合格目標 経済理論(応用)問題集	早稲田セミナー	2018		¥2,160		
財政学	19財政学テキストレジュメ	TACオリジナル	2018		¥1,360	2018/12/6	2018/12/20
	19公務員Ⅴ問題集 財政学	TACオリジナル	2018		¥1,360		
財政学応用・経済政策	国家総合職2019年合格目標 財政学(理論)・経済政策問題集	早稲田セミナー	2018		¥2,160	2019/1/23	2019/2/6
国際経済学	オリジナルレジュメ						2018/12/6
統計・計量経済学	オリジナルレジュメ						2018/9/6
経済史・経済事情	オリジナルレジュメ						2019/2/23
経営学	公務員Ⅴテキスト 経営学	TAC出版	2011	実施日の最新のものを 使用	¥1,944	2018/8/10	2018/8/24
	19公務員Ⅴ問題集 経営学	TACオリジナル	2018		¥1,360		
政策立案講義	オリジナルレジュメ						2018/10/28

※テキスト価格は予定です。

※販売予定日は生協リンクショップでの販売日です。

-2-※販売開始日は遅れる場合がありますので、ご了承ください。

Syllabus

科目	一般知識(人文科学)
担当講師	永田 幸三
回数(コマ数)	10回(20コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

<講義内容>

人文科学の範囲は非常に広いものです。高校までに学習した日本史・世界史・地理をはじめ、思想・文学・芸術など科目数が多い上にそれぞれの科目の内容も、決して容易な学習で解答できるものばかりではありません。有効に学習を進めるために、試験傾向を徹底的に分析し、点数が取れるよう本講義で説明します。地方上級試験に出題される日本史・世界史の細かな論点は、別途地方上級対策講義で実施します。
文芸分野は別途資料を配布し、対応ができるように致します。

第 1 回 1・2	【地理】・ケッペンの気候区分 ・様々な地形 ・農牧業の特徴 ・主要農産物と生産国
第 2 回 3・4	【地理】・世界の農牧業地域 ・鉱工業とエネルギー ・主要鉱工業地域
第 3 回 5・6	【地理】・アジア地誌 ・アフリカ地誌 ・ヨーロッパ地誌
第 4 回 7・8	【地理】・南北アメリカ地誌 ・オセアニア地誌
第 5 回 9・10	【思想】・古代ギリシア思想 ・経験論と合理論
第 6 回 11・12	【思想】・ドイツ観念論 ・功利主義とプラグマティズム
第 7 回 13・14	【思想】・現代思想 ・諸子百家
第 8 回 15・16	【世界史】世界史まとめ講義
第 9 回 17・18	【世界史】世界史まとめ講義 ・日本史まとめ講義
第 10 回 19・20	【日本史】日本史まとめ講義

Syllabus

科目	一般知識(自然科学)
担当講師	平井 俊久
回数(コマ数)	9回(18コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

<講義内容>

自然科学の問題は、高校で学習した範囲が基本になっています。ある水準の事項を理解していれば合格に必要な点数が取れます。文系出身の人は敬遠しがちな科目ですが、化学・生物・地学は基本的に暗記系の科目です。数学、物理は別途webで開講します。

<講義予定>

第 1 回 1・2	【地学】・太陽系の天体 ・恒星の世界 ・気象と海洋
第 2 回 3・4	【地学】・地球の内部構造 ・重力 ・火山活動の様子 ・火成岩
第 3 回 5・6	【地学】・地震とエネルギー ・造山運動 ・大陸移動, 地球の歴史
第 4 回 7・8	【生物】・細胞, 発生 ・生殖, 遺伝 ・ATP ・酵素, 同化, 異化
第 5 回 9・10	【生物】・動物の恒常性 ・植物の恒常性 ・刺激と動物の反応
第 6 回 11・12	【生物】・動物の行動 ・生物の集団(生態系)
第 7 回 13・14	【化学】・化学式 ・化学量 ・化学反応式 ・気体の性質
第 8 回 15・16	【化学】・溶液の性質 ・化学反応 ・酸と塩基酸化と還元
第 9 回 17・18	【化学】・無機化合物 ・有機化合物 ・生活関連物質

Syllabus

科目	一般知識演習
担当講師	永田 幸三/平井 俊久
回数(コマ数)	2回(6コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

<講義内容>

一般知識分野の演習を行ないます。問題を解いていただき、解説講義を行ないます。人文科学、自然科学と分野を分けて実施します。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	一般知識演習(人文科学分野)
第 2 回 4・5・6	一般知識演習(自然科学分野)

Syllabus

科目	数的処理
担当講師	李 相日
回数(コマ数)	18回(36コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	高 I 程度の数学の知識があれば、充分です。
受講生の到達目標	公務員試験に必要な基礎力を身につけ、試験合格への準備を整えること

<講義内容>

数的処理は、公務員試験の1次試験の可否を決める最重要分野です。講義では、ここで要求される問題に対する解法と、その解法につながる‘発想’を中心に講義したいと考えています。

<講義予定>

第 1 回 1・2	判断推理の基礎。判断テキスト第1・2章 対応関係
第 2 回 3・4	判断推理の基礎。判断テキスト第2・3章 対応関係の応用から、試合関係の問題へ
第 3 回 5・6	判断推理の基礎。判断テキスト第4・5章 順序・位置関係の問題処理について
第 4 回 7・8	判断推理の基礎。判断テキスト第4・5章 順序・位置関係の問題処理について
第 5 回 9・10	判断推理のメイン。判断テキスト第6・7・8章 真偽・論理・規則性の理屈と発想法について
第 6 回 11・12	判断推理の仕上げ。判断テキスト第9・10章 未知の問題に対する対処法について
第 7 回 13・14	数的推理。1・2章 速さ。まずは、従来の発想・考え方解き方との違いについて
第 8 回 15・16	数的推理。3・4章 割合系の問題
第 9 回 17・18	数的推理の頻出部分。5・6・7章 集合系・算数系・数学系の問題
第 10 回 19・20	数的推理の頻出部分。5・6・7章 集合系・算数系・数学系の問題
第 11 回 21・22	数的推理の最重要部分。整数系の問題の処理方法について
第 12 回 23・24	数的推理の最重要部分。整数系の問題の処理方法について
第 13 回 25・26	数的推理の仕上げ。確率系の問題処理の方法について
第 14 回 27・28	判断推理系の図形。まずは、図形の根本的な発想の仕方から
第 15 回 29・30	判断推理系の図形。パズル系・移動系の問題処理について
第 16 回 31・32	判断推理系の図形の最重要部。立体図形の見方・捉え方について
第 17 回 33・34	判断推理系の図形の最重要部。立体図形の見方・捉え方について
第 18 回 35・36	数的推理系の図形。計算系の問題処理をパターン化する

Syllabus

科目	数的処理演習(国家総合)
担当講師	李 相日
回数(コマ数)	9回(18コマ) ※前半14コマは地方上級・国家公務員一般職合格コースと合同
受講対象	国家公務員総合職合格コース
必要な知識	基本的な問題を解けること
受講生の到達目標	国家総合職の問題レベルを知り、それに対処しうる解法を身に付けること

<講義内容>

第8・9回の講義では、H28～30の国家総合の問題を使った演習講座を行う予定です。

<講義予定>

第 1 回 1・2	資料解釈。数的処理以上に重要な所。
第 2 回 3・4	資料解釈。計算方法と問題分析を交えながら、問題演習を行う
第 3 回 5・6	29年度の本試験問題(国家一般・国税)を用いた演習講座。
第 4 回 7・8	29年度の本試験問題(裁事・都庁)を用いた演習講座。
第 5 回 9・10	29・30年度の本試験問題(特別区・国家一般)を用いた演習講座。
第 6 回 11・12	30年度の本試験問題(国税・裁事)を用いた演習講座。
第 7 回 13・14	30年度の本試験問題(都庁・特別区)を用いた演習講座。
第 8 回 15・16	28～30年度の国家総合を用いた演習講座。
第 9 回 17・18	28～30年度の国家総合を用いた演習講座。

Syllabus

科目	文章理解
担当講師	根岸 博之
回数(コマ数)	5回(14コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法文系・技術系)/地方上級・国家一般職合格コース(法文系・技術系)
必要な知識	きわめて基礎的な語学力
受講生の到達目標	試験の出題意図をふまえた、客観的な文章理解力を獲得する。

<講義内容>

これまで適切な対策を講じたことのない文章理解のテクニカルな解き方を実践し、得点源にしていく。「自己流」や「カン」に頼りがちな科目だが、その出題傾向と特性を理解し、確実に得点につながる手段など、少しでも得点を伸ばすための講義を進める。オリジナルレジュメを使用し、試験種ごとの傾向をふまえて数多くの良問を提供する予定である。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	現代文 基本的な考え方と内容把握問題の基礎
第 2 回 4・5・6	現代文 内容把握問題応用・空欄補充問題・文章整序問題
第 3 回 7・8・9	英文 基礎的な英文理解の考え方と演習
第 4 回 10・11・12	英文 基礎と応用 照合問題の考え方など
第 5 回 13・14	難題への対応

Syllabus

科目	時事教養
担当講師	根岸 博之
回数(コマ数)	4回(12コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース/地方上級・国家公務員一般職合格コース(法文系)
必要な知識	特になし(公務員講座を受講し、かつ、社会科学を学習済みであることが望ましい)
受講生の到達目標	時事問題に対し、背景の事情も含め完璧な対策を進めていく。論文作成時などにも活用できる時事知識の獲得をめざす。

＜講義内容＞

公務員試験の教養筆記対策で最重要と考えられている時事問題を詳細かつ丁寧に説明していく。出題予想も徹底して実施する予定なので積極的に参加してほしい。社会科学系の講義とあわせて受講を進めていくことが望ましく、事前に社会科学関係の教科を学習済みであることが必要となる。

＜講義予定＞

第 1 回 1・2・3	時事対策1 国内時事、国際時事(政治)
第 2 回 4・5・6	時事対策2 国際時事、経済政策
第 3 回 7・8・9	時事対策3 社会問題(教育、司法警察など)
第 4 回 10・11・12	時事対策4 社会問題(科学技術、環境など)

Syllabus

科目	論文対策
担当講師	根岸 博之
回数(コマ数)	4回(12コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法文系・技術系)/地方上級・国家一般職合格コース(法文系・技術系)
必要な知識	一定の記述力、論理力、行政課題に関する基本知識
受講生の到達目標	論文試験での記述につながる時事知識の獲得と、論理力、記述力の定着。

<講義内容>

合格に向けて最大の難関とされている政策論文(教養論文)について、その記述法を説明するとともに、昨今の行政課題を簡潔にまとめることで、具体的な施策を考察することができるよう配慮していく。公共政策学の基本的な視点の獲得も進めていきたい。また、職種、地域ごとの特性やこれまでの出題をふまえ、それぞれの試験対策を十分に進めることができるよう講義を行う。社会事情系の講義内容については単なる時事常識にとどまらず課題解決の指針も提示できるように配慮する。添削課題を提出する機会もあるので活用してほしい。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	公共政策学、公共経営学の説明、公務員の存在意義、行政サービス論
第 2 回 4・5・6	教養論文の書き方、政策の考え方① 少子高齢化など
第 3 回 7・8・9	教養論文の書き方、政策の考え方② 災害対策、教育、環境問題など
第 4 回 10・11・12	教養論文の書き方、政策の考え方③ 科学技術、NPOなど

Syllabus

科目	憲法基礎
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	10回(20コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	憲法の知識がなくても受講できる。
受講生の到達目標	公務員試験合格に必要な基本的知識を身につける。

<講義内容>

条文・判例・通説に関する多肢選択式試験の頻出テーマを中心に、過去問を解くのに必要な基本的知識を身につけられる講義をする。併せて多肢選択式試験について、学説を使った論理問題についても、重要な点を指示する。使用テキストは六法・判例集・問題集を兼ねた形式にしているので、テキストだけ持ってくれば支障なく受講できる。なお、学習相談を使って、レジュメを配布して、過去問の解きこみをするので、基礎講座の段階で、憲法の頻出テーマに関して問題集を1回終わった状態にする。

<講義予定>

第 1 回 1・2	憲法の意義～人権の主体
第 2 回 3・4	基本的人権の制約～法の下での平等
第 3 回 5・6	思想良心の自由～表現の自由
第 4 回 7・8	表現の自由～職業選択の自由
第 5 回 9・10	財産権の保障～刑事手続の保障
第 6 回 11・12	参政権～教育を受ける権利
第 7 回 13・14	天皇・国会
第 8 回 15・16	国会・内閣
第 9 回 17・18	裁判所
第 10 回 19・20	財政・地方自治

Syllabus

科目	憲法応用
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	4回(8コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	憲法における基本的知識
受講生の到達目標	憲法全般の知識を身に付け、足りないところを自習により補えるようにする。

<講義内容>

基本的知識を有することを前提に、頻出以外のテーマについても講義をする。学習相談の時間まで使って確認テストを行い、質疑応答を行う。応用講座の段階で、憲法の問題集を1回終わった状態にする。現状を把握しながら、各自にあった自習ができるようにする。

<講義予定>

第 1 回 1・2	人権
第 2 回 3・4	人権
第 3 回 5・6	統治
第 4 回 7・8	統治

Syllabus

科目	憲法演習
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	2回(4コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	憲法全般における知識
受講生の到達目標	各自が、合格に必要な知識を適切な形で身に付けているかを確認して、足りないところを自習により補えられるようにする。

＜講義内容＞

多肢選択式試験について、本試験の傾向と2019年において注意すべき項目について説明・講義・確認テストを行う。演習講座の段階で、憲法の問題集を2回終わった状態にする。確認テストで現状を把握して、克服すべきテーマを明確にし、自習を効率よくできるようにする。知識に関する問題を中心にするが、論理問題についても、2019年で要注意なテーマについて講義をする。

＜講義予定＞

第 1 回 1・2	人権
第 2 回 3・4	統治

Syllabus

科目	民法基礎
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	20回(40コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	民法の知識がなくても受講できる。
受講生の到達目標	公務員試験合格に必要な基本的知識を身につける。

<講義内容>

総則から相続について、条文・判例・通説に関する多肢選択式試験の頻出テーマを中心に、過去問を解くのに必要な基本的知識を身につけられる講義をする。併せて学説を使った論理問題についても、重要な点を指示する。テキストは六法・判例集・問題集を兼ねた形式にしているので、テキストだけ持ってくれば支障なく受講できる。なお、学習相談を使って、レジュメを配布して、過去問の解きこみをするので、基礎講座の段階で、民法の頻出テーマに関して問題集を1回終わった状態にする。

<講義予定>

第 1 回 1・2	総則
第 2 回 3・4	総則
第 3 回 5・6	総則
第 4 回 7・8	総則
第 5 回 9・10	総則
第 6 回 11・12	総則・物権
第 7 回 13・14	物権
第 8 回 15・16	物権
第 9 回 17・18	担保物権
第 10 回 19・20	担保物権
第 11 回 21・22	債権総論
第 12 回 23・24	債権総論
第 13 回 25・26	債権総論
第 14 回 27・28	債権総論
第 15 回 29・30	債権総論・債権各論
第 16 回 31・32	債権各論
第 17 回 33・34	債権各論
第 18 回 35・36	債権各論
第 19 回 37・38	債権各論
第 20 回 39・40	親族・相続

Syllabus

科目	民法応用
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	8回(16コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	民法における基本的知識
受講生の到達目標	民法全般の知識を身に付け、足りないところを自習により補えるようにする。

<講義内容>

基本的知識を有することを前提に、頻出以外のテーマについても講義をする。学習相談の時間を使って確認テストを行い、質疑応答を行う。現状を把握しながら、各自にあった自習ができるようにする。応用講座の段階で、民法の問題集を1回終わった状態にする。

<講義予定>

第 1 回 1・2	総則
第 2 回 3・4	総則
第 3 回 5・6	物権
第 4 回 7・8	担保物権
第 5 回 9・10	債権総論
第 6 回 11・12	債権総論
第 7 回 13・14	債権各論
第 8 回 15・16	債権各論

Syllabus

科目	民法演習
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	4回(8コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	民法全般における知識
受講生の到達目標	各自が、合格に必要な知識を適切な形で身に付けているかを確認して、足りないところを自習により補えるようにする。

＜講義内容＞

多肢選択式試験について、本試験の傾向と2019年において注意すべき項目について説明・講義・確認テストを行う。演習講座の段階で、民法の問題集を2回終わった状態にする。確認テストで現状を把握して、克服すべきテーマを明確にし、自習を効率よくできるようにする。知識に関する問題を中心にするが、論理問題についても、2019年で要注意なテーマについて講義をする。親族・相続についても、講義することがある。

＜講義予定＞

第 1 回 1・2	総則
第 2 回 3・4	物権・用益物権・担保物権
第 3 回 5・6	債権総論・債権各論
第 4 回 7・8	債権各論

Syllabus

科目	経済理論基礎
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	21回(46コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	中学レベルの数学の知識
受講生の到達目標	国家総合職法律区分の経済理論の問題、及び地方上級試験等の併願先の経済理論の問題を70%以上解けるようになる。

<講義内容>

経済理論は、数式モデルを用いて経済現象を分析するものである。大きく分類すると、ミクロ経済学とマクロ経済学に分かれている。ミクロ経済学は、財・サービスの取引を分析を行い、市場経済の効率性とその限界を学習していく。また、マクロ経済学は、一国全体の経済の振る舞いについて分析を行い、経済政策の効果等を学習している。

<講義予定>

第 1 回 1・2	ミクロ経済学:費用関数を用いた企業理論1
第 2 回 3・4	ミクロ経済学:費用関数を用いた企業理論2
第 3 回 5・6	ミクロ経済学:消費者理論1
第 4 回 7・8	ミクロ経済学:消費者理論2
第 5 回 9・10	ミクロ経済学:消費者理論3
第 6 回 11・12	ミクロ経済学:生産関数を用いた企業理論
第 7 回 13・14	ミクロ経済学:完全競争市場1
第 8 回 15・16	ミクロ経済学:完全競争市場2
第 9 回 17・18	ミクロ経済学:不完全競争市場1
第 10 回 19・20	ミクロ経済学:不完全競争2&市場の失敗1
第 11 回 21・22	ミクロ経済学:市場の失敗2&国際貿易論
第 12 回 23・24	マクロ経済学:国民所得統計
第 13 回 25・26・27	マクロ経済学:財市場の分析1&財市場の分析2
第 14 回 28・29・30	マクロ経済学:財市場の分析2&金融市場の分析1
第 15 回 31・32・33	マクロ経済学:金融市場の分析2&IS-LM分析
第 16 回 34・35・36	マクロ経済学:IS-LM分析&物価とインフレ1&物価とインフレ2
第 17 回 37・38	マクロ経済学:物価とインフレ2&物価とインフレ3
第 18 回 39・40	マクロ経済学:物価とインフレ3&消費と投資
第 19 回 41・42	マクロ経済学:経済成長論1
第 20 回 43・44	マクロ経済学:経済成長論2&国際マクロ経済学1
第 21 回 45・46	マクロ経済学:国際マクロ経済学2

Syllabus

科目	経済系総合職対策 I
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	16回(32コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース
必要な知識	地方上級レベルの問題が解ける経済学の知識
受講生の到達目標	国家総合職を経済区分の経済理論の問題を70%以上解けるようになる。

<講義内容>

国家一般職や地方上級レベルの内容を踏まえた上で、国家総合職の経済区分の経済理論の問題に対応することを目的とする。国家総合職の経済職の問題は他の試験種より問題のレベルが高く、かつ出題範囲も広くなるため、専用の対応が必要になる。合格者の多くは国家総合職が第1志望であり、このレベルさえクリアすれば合格しやすい試験である。過去問を完全に潰すことにより、最終合格を勝ち取れる講義を行う。

<講義予定>

第 1 回 1・2	ミクロ経済学:消費者理論1
第 2 回 3・4	ミクロ経済学:消費者理論2
第 3 回 5・6	ミクロ経済学:消費者理論3
第 4 回 7・8	ミクロ経済学:消費者理論4
第 5 回 9・10	ミクロ経済学:企業理論
第 6 回 11・12	ミクロ経済学:完全競争市場1
第 7 回 13・14	ミクロ経済学:完全競争市場1 & 完全競争市場2
第 8 回 15・16	ミクロ経済学:完全競争市場2
第 9 回 17・18	ミクロ経済学:不完全競争市場1
第 10 回 19・20	ミクロ経済学:不完全競争市場1 & 不完全競争市場2
第 11 回 21・22	ミクロ経済学:不完全競争市場2
第 12 回 23・24	ミクロ経済学:不完全競争市場3
第 13 回 25・26	ミクロ経済学:市場の失敗1
第 14 回 27・28	ミクロ経済学:市場の失敗2
第 15 回 29・30	マクロ経済学:国民所得統計 & 財市場の分析 & 金融市場の分析1
第 16 回 31・32	マクロ経済学:金融市場の分析2

Syllabus

科目	経済系総合職対策Ⅱ
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	16回(32コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース
必要な知識	地方上級レベルの問題が解ける経済学の知識
受講生の到達目標	国家総合職を経済区分の経済理論の問題を70%以上解けるようになる。

<講義内容>

国家一般職や地方上級レベルの内容を踏まえた上で、国家総合職の経済区分の経済理論の問題に対応することを目的とする。国家総合職の経済職の問題は他の試験種より問題のレベルが高く、かつ出題範囲も広くなるため、専用の対応が必要になる。合格者の多くは国家総合職が第1志望であり、このレベルさえクリアすれば合格しやすい試験である。過去問を完全に潰すことにより、最終合格を勝ち取れる講義を行う。

<講義予定>

第 1 回 1・2	マクロ経済学: 金融市場の分析3 & IS-LM分析
第 2 回 3・4	マクロ経済学: 物価とインフレ1
第 3 回 5・6	マクロ経済学: 物価とインフレ2
第 4 回 7・8	マクロ経済学: 物価とインフレ3
第 5 回 9・10	マクロ経済学: 消費と投資
第 6 回 11・12	マクロ経済学: 経済成長論1
第 7 回 13・14	マクロ経済学: 経済成長論2
第 8 回 15・16	マクロ経済学: 経済成長論3
第 9 回 17・18	マクロ経済学: 景気変動論
第 10 回 19・20	専門記述対策1
第 11 回 21・22	専門記述対策2
第 12 回 23・24	専門記述対策3
第 13 回 25・26	専門記述対策4
第 14 回 27・28	専門記述対策5
第 15 回 29・30	専門記述対策6
第 16 回 31・32	専門記述対策7

Syllabus

科目	財政学
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	5回(12コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	ミクロ経済学、マクロ経済学
受講生の到達目標	国家総合職の財政学の問題、及び地方上級試験等の併願先の財政学の問題を70%以上解けるようになる。

<講義内容>

財政学は、政府の活動のうち経済的な側面を分析する学問である。内容は、理論的なものと制度的なもの、データのものの3つ大別できる。特に国家財政制度や租税データなど制度的なものとデータのものは覚えなければならず、暗記をすることが大きな比重を占めている。その一方で、経済理論の知識を前提とした理論的な問題の解法も説明する。

<講義予定>

第 1 回 1・2	財政理論：国家財政1
第 2 回 3・4	財政理論：国家財政2
第 3 回 5・6	財政理論：租税理論
第 4 回 7・8・9	制度とデータ：国家財政制度
第 5 回 10・11・12	制度とデータ：租税制度 & 地方財政

Syllabus

科目	財政学応用・経済政策
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	4回(10コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース
必要な知識	地方上級レベルの問題が解ける経済学と財政学の知識
受講生の到達目標	国家総合職を経済区分の財政学・経済政策の問題を70%以上解けるようになる。また、専門記述の財政学に必要な知識を理解する。

<講義内容>

ミクロ経済学とマクロ経済学、及び財政学の知識を踏まえ、国家総合職の経済区分用に出題される財政学・経済政策の問題に対応するように、過去問の解説を中心に講義を行う。また、2次試験の専門記述にも対応するために必要な知識のインプットも同時に説明する。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	財政理論1
第 2 回 4・5・6	財政理論2 & 租税理論1
第 3 回 7・8	租税理論2 & 経済政策1
第 4 回 9・10	経済政策2

Syllabus

科目	国際経済学
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	5回(12コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース
必要な知識	ミクロ経済学とマクロ経済学
受講生の到達目標	国家総合職を経済区分の国際経済学の問題のうち3問中2問を解けるようになる。

<講義内容>

国総合職の経済区分の国際経済学に対応するための講義である。国際経済学はミクロ経済学の応用である国際貿易論とマクロ経済学の発展分野である国際マクロ経済学に分けられる。どちらも、ミクロ経済学とマクロ経済学の知識を前提に講義を進めるため、講義開始までにこれらをしっかりと復習して講義に臨んで欲しい。

<講義予定>

第 1 回 1・2	国際貿易論インプット講義: 国際貿易論の基本事項
第 2 回 3・4	国際貿易論インプット講義: ヘクシャー・オリーンモデル
第 3 回 5・6	国際貿易論インプット講義: 貿易政策の効果、特殊要素モデル
第 4 回 7・8・9	国際貿易論: 過去問解説 国際マクロ経済学インプット講義: 為替レート of 決定理論
第 5 回 10・11・12	国際マクロ経済学インプット講義: 経済政策の効果&過去問解説

Syllabus

科目	統計・計量経済学
担当講師	近藤 秀臣
回数(コマ数)	11回(28コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法文系)
必要な知識	ミクロ・マクロ経済学等の学習時に修得した基本的な数学的知識
受講生の到達目標	最終段階として、国家総合職・専門試験「統計・計量経済学」及び財務専門官試験「統計学」等の科目において合格ラインに達すること

＜講義内容＞

「統計」そして「統計学」というと、どこか“とっつきにくい”印象を持たれる方もいらっしゃるかと思います。しかし、“世の中”という一見捉えどころがありそうでないような存在を“見通す”ツールとして、「統計」は極めて有用なものとなっています。特に、数量データを扱うことが多い経済学においてはその理論の検証を行うためにも重要な存在となっています(それを行うのが統計学の応用分野としての「計量経済学」です)。そんな、「統計」そして「統計学」の“面白さ”をお伝えし、公務員試験特有の“出しグセ”を当然踏まえ、そこで必要十分な範囲での“使える”統計ツールのイメージを掴め、実際の計算方法も押さえ易くなれるような講座展開を行って参ります。

＜講義予定＞

第 1 回 1・2・3	ガイダンス:統計及び統計学とは～その歴史と実例,そして数学的ツールについて
第 2 回 4・5・6	統計学Ⅰ:代表値(平均・分散etc.)
第 3 回 7・8・9	統計学Ⅱ:相関係数と回帰直線
第 4 回 10・11	統計学Ⅲ:確率分布・統計分布の諸相Ⅰ
第 5 回 12・13	統計学Ⅳ:確率分布・統計分布の諸相Ⅱ
第 6 回 14・15	統計学Ⅴ:記述統計学と推計統計学(統計的推定)
第 7 回 16・17	統計学Ⅵ:統計的推定のその具体的手法
第 8 回 18・19	統計学Ⅶ:統計的検定とその具体的手法
第 9 回 20・21・22	計量経済学Ⅰ:単回帰分析とその周辺Ⅰ
第 10 回 23・24・25	計量経済学Ⅱ:単回帰分析とその周辺Ⅱ・重回帰分析とその周辺Ⅰ
第 11 回 26・27・28	計量経済学Ⅲ:重回帰分析とその周辺Ⅱ・同時方程式モデル 等

Syllabus

科目	経済史・経済事情
担当講師	近藤 秀臣
回数(コマ数)	4回(10コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法文系)
必要な知識	高等学校初年時段階を目安とした日本及び西欧近現代史の基本的な「流れ」がイメージできれば望ましい。
受講生の到達目標	最終段階として、法文系公務員試験の各種専門試験(及び教養試験)における「経済史」及び「経済事情」系科目において合格ラインに達すること

<講義内容>

公務員試験には科目によって独特の“出しグセ”があります。主として国家総合職試験・「経済史・経済事情」を中心に、国家一般職試験「財政学・経済事情」、及び地方上級試験「経済事情」等を選択予定の皆さんに、上記の“クセ”を踏まえて、「日本経済」「世界経済」の“いま”，そしてその“いま”を成立させてきた“歴史”について、できるだけ大きなパースペクティブの中でイメージを掴め、「白書」等の数値的な点も押さえ易くなれるような講座展開を行って参ります。なお、専門試験のみならず教養試験「人文科学」の「日本史」「世界史」の両分野、及び「社会科学」の「経済」分野においても本分野は出題されますので、教養試験での“上乘せ”を図りたい方にも受講をお勧め致します。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	日本経済史Ⅰ
第 2 回 4・5・6	日本経済史Ⅱ／西欧経済史
第 3 回 7・8	経済事情Ⅰ～「経済財政白書」及び「日本経済2015-2016」を読む
第 4 回 9・10	経済事情Ⅱ～「世界経済の潮流Ⅰ」「世界経済の潮流Ⅱ」を読む

Syllabus

科目	経営学
担当講師	中原 香織
回数(コマ数)	6回(12コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース／地方上級・国家公務員一般職合格コース
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

<講義内容>

公務員の業務は企業と関係するものも多く、公務員には企業経営に関する理解が求められています。経営学は広範な領域にまたがる学問であり、その全てを習得するのは困難といえますが、過去の出題傾向を徹底的に検討すると、その出題範囲はかなり限定されており、全般的に基本的事項の理解を問う問題がほとんどです。本講義では短期間で効率よく点数が取れる講義を実施します。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・経営学の基礎概念 ・企業論
第 2 回 3・4	・伝統的管理論と人間関係論 ・行動科学的モチベーション論 ・近代組織論
第 3 回 5・6	・経営組織の基本構造と形態 ・その他の経営組織の形態 ・組織設計の理論
第 4 回 7・8	・経営戦略総論・企業戦略 ・多角化戦略 ・競争戦略 ・その他の経営戦略論
第 5 回 9・10	・国際経営論 ・日本的経営論 ・リーダーシップ論
第 6 回 11・12	・経営計画と統制 ・財務管理論 ・マーケティング論 ・過去問

Syllabus

科目	政策立案講義
担当講師	近藤 秀臣
回数(コマ数)	5回(12コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法文系・技術系)
必要な知識	特になし(中学校「公民」及び高等学校「現代社会」「政治・経済」もしくは「倫理」のうち1科目以上の基礎知識があればより望ましい)
受講生の到達目標	最終段階において、各種公務員試験における「小論文」及び「面接」「集団討論」、特に国家総合職試験「政策論文」及び「政策課題討議」、さらには「官庁訪問」等において高評価を獲得しうるような政策的思考力の基礎を涵養する。

<講義内容>

「政策」―「よくコトバは耳にするけど、何かつかみどころがないよね…」「何だかよくわからないうちにどこかで決められて、押し付けられてる感じってあるよね…」etc.「政策」という存在は、どこか、日常生活からかけ離れた、それでいてしっかりと取り囲まれている何だか奇妙なモノ…という印象を持たれがちです。しかし例えば、食品や水、建築物などの「安全性」をいちいち確認せずとも、多くの場合“安全”にそれらが使えるのも、教育機関や道路が利用できるのも、実のところすべて「政策」の産物なのです。本講義では、将来何らかの形で「政策」の直接の担い手となる「公務員」を目指す皆さんに、その「政策」に関する基礎的な見方・考え方、分析手法や立案手法等をご紹介します。公務員試験においていわば「政策的思考力」ひいては「政策立案力」を問われるような、上記の「到達目標」に書かせて頂いた各種の試験(その典型が国家総合職「政策論文」試験です)を突破し、かつ特にそのレベルが高度なものとなる国家総合職「官庁訪問」等においても高評価を獲得して頂くための基礎力の涵養を目指す講義展開を予定しています。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	「行政」とは何か: その存在理由, その構造と機能, 行政内部及び民間部門等の他セクタとの役割分担や相互関係について 等
第 2 回 4・5・6	「政策」とは何か I (総論篇): その存在理由, その「担い手」と「手段」の諸相, いわゆる「政策プロセス」の在り方について 等
第 3 回 7・8・9	「政策」とは何か II (各論篇): 近年の我が国における代表的な「政策」に係るケーススタディとその分析及び“次善の策”の検討 等
第 4 回 10・11	「政策論文」対策 I : その傾向と対策, 重要過去問研究(添付資料の読解を含む), 試験委員研究, 「予想問題」配布 等(「政策課題討議」の研究も含む)
第 5 回 12	「政策論文」対策 II : 「予想問題」フォローアップ, その他の重要出題予想テーマの検討 等